

寺だより

25/01/28
第114号

真宗大谷派
青龍山西光寺
珠洲市正院町正院

仏暦二五六八年の幕開け

修正会（しゅしょうえ）で

スタート！



2025/1/1 修正会

きませんでしたが、一月一日午前十時から、住職と坊守二人で修正会を勤めさせていただきました。

修正会は、新年を祝うと同時に今年もお念仏と共に日々を送らせていただく誓いを新たにすお正月のすがすがしいお参りです。

本堂や広間など庫裡（住まい）は全壊で使えませんが、なんとか使える式台（お参りがあるときの僧侶方の玄関）にある受付の間・三畳の部屋にお内仏を設置し手を合わせる場所をつくりました。今年は、その三畳間で修正会を勤めました。

除夜の鐘は、昨年の能登半島地震で鐘楼堂が倒壊しましたのでつくことはできません。

阿弥陀さまの前で新しい年を迎えさせていただいた喜びと仏恩報謝の気持ちをもってお勤めをさせていただきました。



元旦や

今日のいのちに

遇う不思議

木村無相

正月の西光寺伝

道掲示板より

震災後の新しい年を迎えた西光寺伝道掲示板の言葉は、真宗の教えを喜ばれ、多くの詩を作られた木村無相さんの言葉です。

「老少不定」といわれる人間のこの「いのち」に今日も私は遇うことができました。

真宗の教えを喜ばれた木村無相さんは、私たちは願われて生きている身であり、数え切れない「めぐみ」によって生かされている、「おかげさま」で生きていくことを十分に存知していても、元旦を迎えて、今、生かされていることをあらためて実感され、この不思議を喜ばれて歌われた言葉ではないです。

ようか。

当り前ではありません。いつ死んでもおかしくない命です。新しい年を迎え、今日のいのちに遇うことは不思議なことです。

「報恩感謝」の生活もこの「不思議」と受け止める生活から始まるのではないのでしょうか。

ご門徒の皆さま、有縁の皆さま、今年もよろしくお願ひします。

苦渋の決断

西光寺本堂・庫裡（広間や住まい）
鐘楼堂の公費解体決定

お寺というのはご門徒さんの支えによって永代に渡り護持されていく仏教施設です。西光寺も創立以来、多くのご門徒さんの懇志により成り立つてきました。

しかし、今般の能登半島地震を契機に、この地はますます過疎化・高齢化が進み、門徒戸数も減少することは明らかです。

今回の地震では、寺社仏閣も半壊以上は公費解体が適用されることになりました。苦渋の決断ですが、歴史ある西光寺本堂・庫裏・鐘楼堂の公費解体を決定させていただきました。

「蓮如上人」ゆかりの寺

西光寺復興の願い

住職 禧美尚章



傾いた本堂

能登半島地震により鐘楼堂が倒壊し、本堂・鐘楼堂・庫裏（住まい）は倒壊を免れませんが、罹災調査では全壊判定でした。

また、墓地全体も壊滅的な状況になりました。けれども、仏さまは、幸いなことに仏具屋さんで修理中（令和5年の震度6強の地震により、宮殿と共に倒れ損傷）で無事でした。また、浄土真宗門徒にとつては宝物である「へんじやごしよさま（御文・蓮崇書写本）」も、なんとか無傷で取り出すことができました。同じく、親鸞聖人御絵伝も無事取り出すことができました。

大変な状況ですが、過疎地における新しいお寺のあり方を考え、永代に渡って維持可能な新しい蓮如上人ゆかりの寺・西光寺ができればと願っています。

そして、未来に向けて、小さくても、門徒皆様のそして地域のお寺として、そして皆様が集う「場」となるようなお寺として復興できますよう、そして、故郷への想い、子どもたちへの想い、未来への想い、そんな想いを形にする「旗印」になることができればと願っています。

もちろん、「へんじやごしよさま」をお守りし、「へんじやまいり」の継承にも力を注いで生きたと思っています。また、ご家族による継承を前提としたお墓の維持が困難になってきています。ご家族が祖先祭祀の役割を果たせなくなつたとしても、亡きお方の尊厳を守るこのことのできる合葬墓を考えています。



蓮如上人像と倒壊した鐘楼堂

復興に向けて第一弾

西光寺ホームページ開設！

西光寺を、具体的に、どう復興させる、何年後にどう再建していく、といった将来設計はまだ立ちません。けれど

ども、まず必要なのは『今、ここから始めよう』という意欲であり覚悟だと思えます。

できることの一つとして、西光寺ホームページを手探りで立ち上げました。徐々に内容を更新していき、気軽にご門徒さんをはじめ有縁の皆さまと交流の出来る見やすいホームページにしていきたいと思っています。

温かくお見守りいただければありがたいと思います。

西光寺ホームページ開設！

- 公開日 令和7年1月1日（水）
- 公開URL <https://syoinsaikouji.com>
- サイト名 蓮如上人ゆかりの寺西光寺



スマートフォンをお持ちの方は、スマートフォンのQRコードを読み込み、西光寺サイトにお越し下さい。

復興に向けて第二弾 西光寺ライン公式アカウント開設!



西光寺からのお知らせや各種ご案内をお届けできるよう、**西光寺ライン公式アカウントを開設しました!**

西光寺ライン公式アカウントでは、寺だよりやへんじやまいりや報恩講などのお参りについての情報を配信します。

「グループライン」でも、全員に情報を配信できますが、個人的な返信も全員に届くので、不都合なことがあります。

「西光寺ライン公式アカウント」は、全員に配信できるのは同じですが、皆さまからの返信は、西光寺のみに届きます。またトークからお問合せやご相談ができます。トーク内容は、尋ねられた方と西光寺のみに共有され、他の方々は閲覧できませんので、お気軽に仏事相談や法事のご予約などができます。

ラインの個人アカウントを持っていない方は、開設は簡単です。ぜひご登録ください!

友だちの追加方法

左光に
い西だ
使用友
をとむ
ラむを
メ込を
カミウ
の読カ
オンを
フード
トコ公
一QRま
スマの
下の追



で葬の
後相談
LINEで
の今LINE
すやすは
は問は
LINEお
尋ね
連絡ま
すとの
は関は
LINEお
尋ね
出儀こ
の質
こや
おだ
さい

復興に向けて第三弾

昨年二月より能美市寺井町で一軒家を借り、西光寺仏具や七条袈裟・衣・お経本などを保管しています。
今年も、蛸島第1団地と寺井町第2西光寺と行き来しながら西光寺復興に向けて活動します。

西光寺連絡先

○電話 0768-82-0856

○携帯 090-4689-6318

○珠洲市蛸島町鉢ヶ崎1の3

○蛸島第1団地 1015

○第2西光寺 能美市寺井町ほ37122

*第2西光寺には、八畳の仏間があります。

ますので、少人数のご法事はできません。

ご門徒さんの多くの方が被災され、第二次避難所や仮設住宅にお住まいです。今も、まったく先は見えず、多くの方が不安の中でお過ごしかと思えます。

西光寺復興を考えたとき、住職自身が問われたのは、「なぜご門徒さんも被災している中、お寺を維持しなければならぬのか」ということでした。

しかし、長い歴史の中でお寺の存在を考えたときに、やはりそこには多くの方が生きる拠り所として集まる「場」であったというところに意義があり、今日まで存続されてきたのだと思います。新しい西光寺復興に向けて前進したいと思えます。

よろしくお願いいたします。

本山からのお知らせ

【被災門徒さんへの支援】

① 災害用三折御本尊(三折本尊・勤行本2冊)の提供【無償】

② 帰敬式法名紙の再交付【無償】

※本山において法名を染筆後お渡しいたします。

ご希望の方は、西光寺までご連絡下さい。

令和7年度(2025年度) 年回法要表

没年	年回忌	没年	年回忌	没年	年回忌
昭和51年(1976年)	<u>50回忌</u>	平成5年(1993年)	<u>33回忌</u>	平成22年(2010年)	16
昭和52年(1977年)	49	平成6年(1994年)	32	平成23年(2011年)	15
昭和53年(1978年)	48	平成7年(1995年)	31	平成24年(2012年)	14
昭和54年(1979年)	47	平成8年(1996年)	30	平成25年(2013年)	<u>13回忌</u>
昭和55年(1980年)	46	平成9年(1997年)	29	平成26年(2014年)	12
昭和56年(1981年)	45	平成10年(1998年)	28	平成27年(2015年)	11
昭和57年(1982年)	44	平成11年(1999年)	<u>27回忌</u>	平成28年(2016年)	10
昭和58年(1983年)	43	平成12年(2000年)	26	平成29年(2017年)	9
昭和59年(1984年)	42	平成13年(2001年)	25	平成30年(2018年)	8
昭和60年(1985年)	41	平成14年(2002年)	24	令和元年(2019年)	<u>7回忌</u>
昭和61年(1986年)	40	平成15年(2003年)	<u>23回忌</u>	令和2年(2020年)	6
昭和62年(1987年)	39	平成16年(2004年)	22	令和3年(2021年)	5
昭和63年(1988年)	38	平成17年(2005年)	21	令和4年(2022年)	4
平成元年(1989年)	37	平成18年(2006年)	20	令和5年(2023年)	<u>3回忌</u>
平成2年(1990年)	36	平成19年(2007年)	19	令和6年(2024年)	<u>1周忌</u>
平成3年(1991年)	35	平成20年(2008年)	18		
平成4年(1992年)	34	平成21年(2009年)	<u>17回忌</u>		

年忌法要の案内
 ご法事を考えられている方は、年回法要表をご参考になりながら、日程や法事場所などについてご相談下さい。



II 編集後記 II

昨年四月十日に、蛸島第一団地に入居しました。

最初は、生活するところができてよかったと思っていました。そのうちに……もう少し広ければと思ったり、周りに声や音が響くかもしれないからなるべく音をたてないような生活をしなくては……。いつの間にか「仮の棲家を離れ、早く落ち着ける居場所がほしい」と願っている私がいいます。

「神も仏もない」よくわかります。けれど、色々な悲しみを抱えながら今を生きている人がいます。色々な怒り、色々な苦しみを抱えながらも、今この瞬間も人々はこの地球上で生きようとしています。

不安を抱える人々が、水平に出会い、ひとりひとりが不安を吐き出し、阿弥陀仏のお心を尋ねて互いに生きること確かめる場所。それが寺院です。

西光寺は念仏の道場ですから、生きること確かめ合う場所です。この場所と一緒に教えを聞いてくださるご門徒さんが来られるということは、なによりも喜びです。

あらためて、西光寺復興を願い、そしてこの西光寺を自らの居場所にし、生きることを学び続けたい、そう思うことです。

南無阿弥陀仏